

# 作物のTYLCV検査

〈対象作物〉

トマト類(病名:トマト黄化葉巻病)

トルコギキョウ(病名:トルコギキョウ葉巻病)



トマト黄化葉巻病



タバココナジラミ



耐病性品種の黄化葉巻病

カルシウム欠乏

## TYLCV

**病原** トマト黄化葉巻ウイルス: TYLCV (*Tomato yellow leaf curl virus*)

**感染** ウイルスを保毒したタバココナジラミ成虫が吸汁して媒介する。

**症状** <トマト類>新葉の葉縁及び葉脈間が退緑・黄化する。進行すると、葉の小型化、萎縮、節間短縮等の症状を示し、新梢全体が萎縮する。開花や結実が阻害される。発病後に治療することはできない。

<トルコギキョウ>新葉の葉裏の葉脈が隆起し、葉の表面が内側に巻く。発病部位から上の節間は詰まり、萎縮する。

### このような場合におすすめです！

- ・作物に上記症状がみられる
- ・圃場内や圃場周辺にコナジラミ類が発生している
- ・TYLCV耐病性品種に新梢の奇形・生育不良など本病と疑わしい症状がみられる

耐病性品種でも高温等の環境条件によって発病することが報告されています。なお、カルシウムやホウ素欠乏などから新葉が奇形になることもあります。疑わしい症状がみられる場合、検査してTYLCVの感染を確認し対応策を考えましょう。

## 検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

### TYLCV 感染検査のみ

検査を希望する新梢(生長点～20 cm程度)2～3本。  
新梢の切り口を湿らせたティッシュで包み、新梢全体をビニール袋に入れ密閉する。

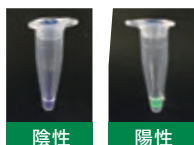
### TYLCV 以外の病害も診断する場合

根を含む株全体。土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉する。具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。



## 検査の方法

LAMP法



## 注意事項

乾燥・枯死した検体は検査できません。

## 報告書

- ・病原ウイルスの感染を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

